

# みんなで耕作放棄地を救え！！

和歌山県立向陽高等学校 チーム名:カンザスシティシャッフル  
池田悠人 西上佳楠 西谷伊織 真砂昊太郎

1, 農業の現状

2, 目的

3, 先行事例

4, 提案

5, まとめ

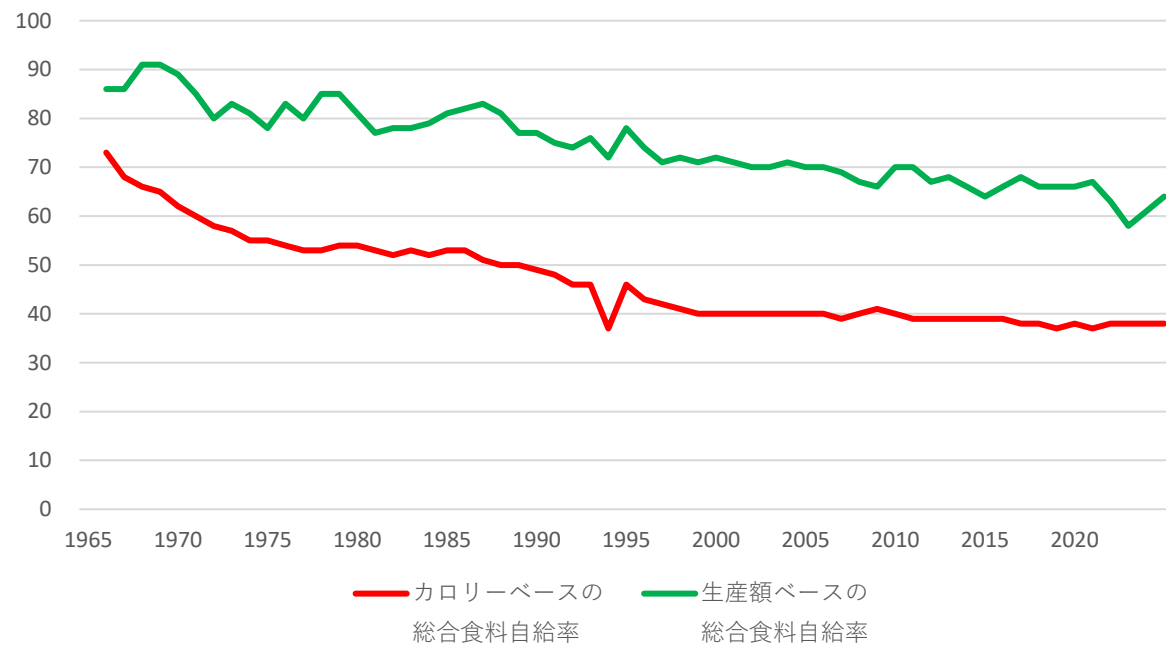
6, 参考文献

# 農業の現状

01

# 総合食料自給率

食料自給率



農林水産省「食料需給表」より作成

食料自給率は減少傾向  
カロリーベースで**40%**を下回る



自給率を上げる施策が必要

# 品目別食料自給率

令和6年度

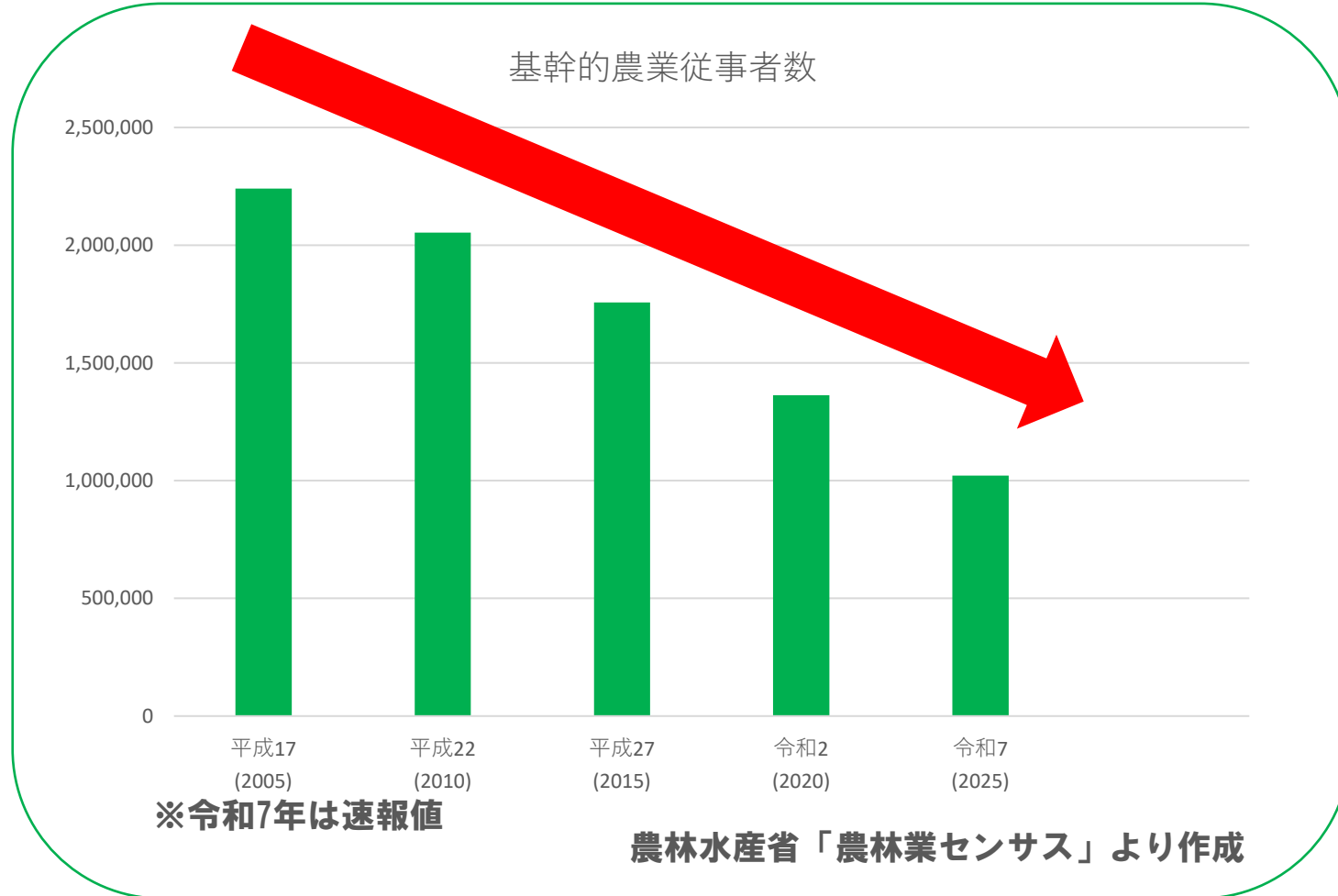
品目	割合(%)
米	99
小麦	17
大麦・はだか麦	12
いも類	73
豆類	8
野菜	80
果実	38
肉類(鯨肉を除く)	53 (8)
鶏卵	96 (13)
牛乳・乳製品	63 (29)
魚介類	53
海藻類	65
砂糖類	25
油脂類	15
きのこ類	89

麦類、豆類など米を除く**穀類**が特に低い

畜産類の項目は**飼料自給率**を考慮するとさらに低い

農林水産省「食料需給表」より作成

# 農家の減少

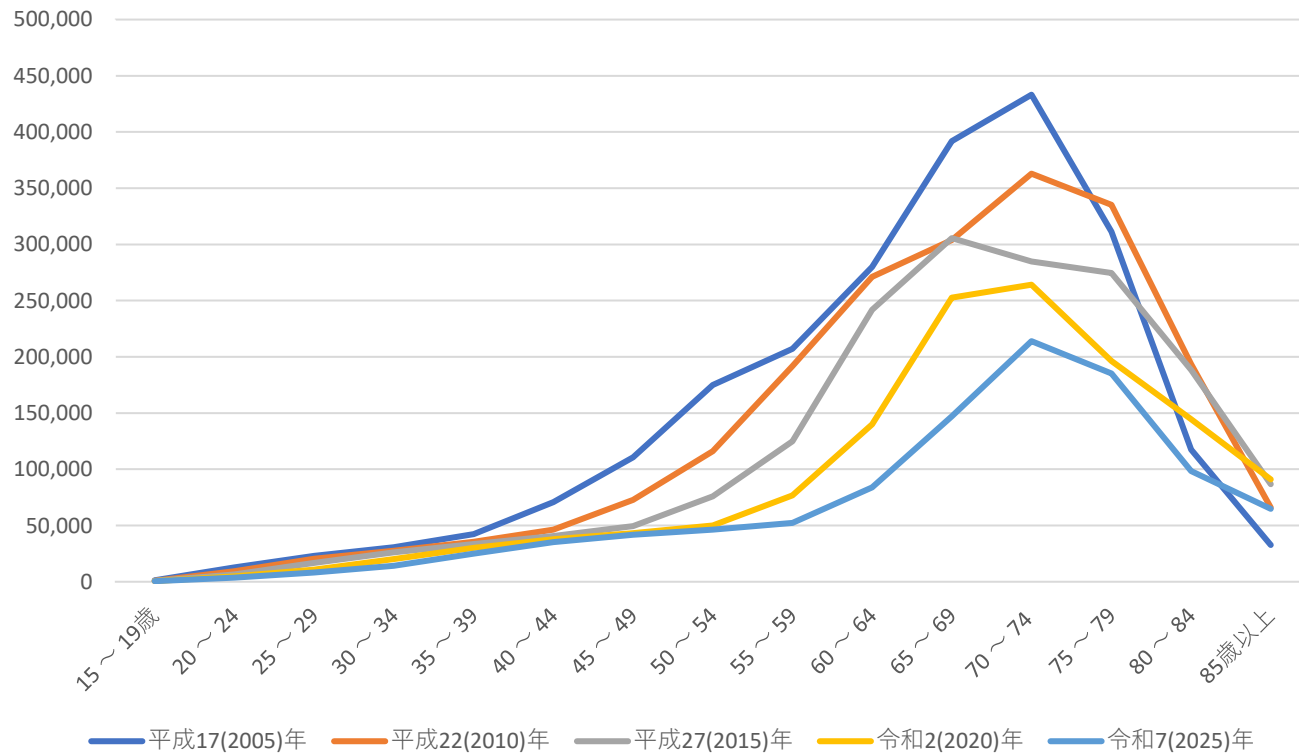


2005年からの20年で  
**1,200,000人**もの**減少**



# 農家の高齢化

年齢階層別基幹的農業従事者数



50代は75%減  
70代は50%減



高齢者の増加

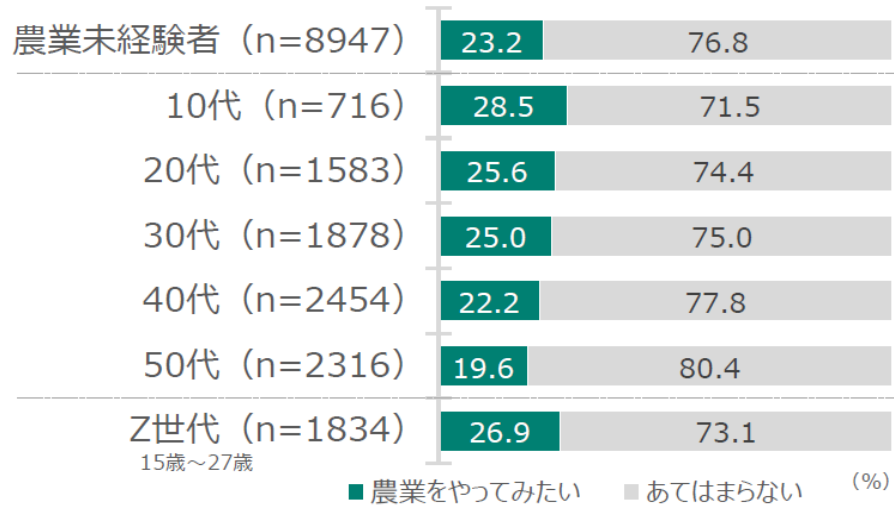
※令和7年は速報値

農林水産省「農林業センサス」より作成

# 農業への関心

【図2】 農業未経験者の農業体験意向 令和4年

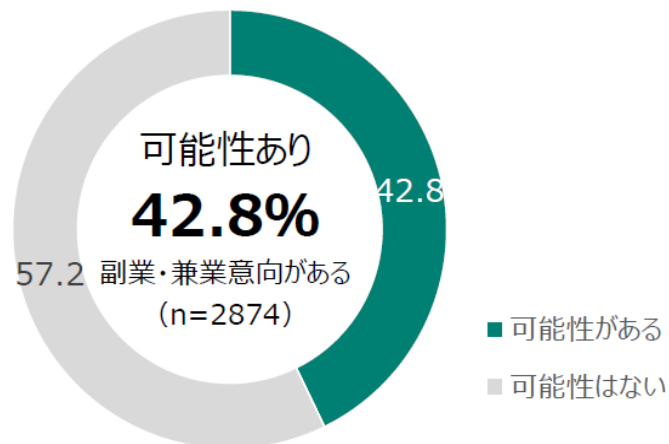
Q.今後、農業をやってみたいですか？



若者の**4人**に**一人**農業に関心を持っている

【図3-2】 副業・兼業意向がある人に聞く  
今後の副業・兼業としての農業

Q.今後の副業・兼業としての農業は？



副業・兼業として農業をしたいと思う人は**42.8%**



# 目的

02

# 日本の目標

今後20年程度で

食料自給率  
摂取ベース**53%**  
国際基準準拠**45%**

生産性を**1.8倍**  
**49**歳以下の数を維持  
農地面積を**412万ha**



農業経営の「収益力」を高め、農業者の「所得を向上」

# 研究の目的

食料・農業・農村基本計画の達成



農業を**身近**に感じる

農業に**興味**をもつ

# 耕作放棄地の面積

地域別耕作放棄地面積の推移 (ha)

	2010	2015
海草地域	940	937
那賀地域	726	794
伊都地域	639	680
有田地域	471	532
日高地域	611	763
西牟婁地域	403	471
東牟婁地域	438	481
計	6238	6673

海草地域だけで**937ha**



利用すれば生産が見込める

# 先行事例

03

# 市民農園

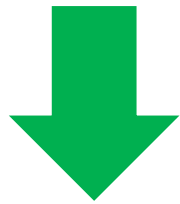


地方自治体、農業協同組合農家個人が  
非農家の市民に非営利で農地を貸し出すシステム

# 問題点①

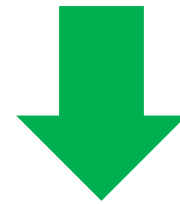
## 利用者

利用者は農業の体験のために  
貸出料を支払う必要がある



利用者数が増加しづらい

利用者は非営利で利用

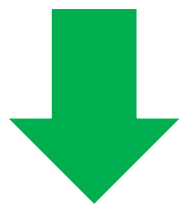


農園を利用することで  
収入を得ることができない

## 問題点②

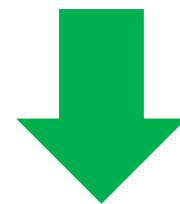
貸出主

農地を貸し出すことによって運営



農地を使えない時間が生まれ  
効率的ではない

市民農園を始めるには  
申請が必要な場合あり



法律の規制があるため  
個人で始めるのは困難



提案

04

# 荒廃農地・耕作放棄地再生プロジェクト！



# 農地の再生

## (**荒廃農地**の場合)

	再生利用が 可能な 荒廃農地 (A)		再生利用が 困難と 見込まれる 荒廃農地 (B)		荒廃農地 面積 (A + B)	
		農用地区域		農用地区域		農用地区域
和歌山県	938	657	2063	1482	3001	2139

農林水産省「令和5年度の荒廃農地面積」

## 再生利用が可能な荒廃農地(A)を利用

1. 草引き、低木等の伐採
2. 耕起、施肥

和歌山版農地再生活用支援事業で  
遊休農地10a当たり下記の支援

農地属性	交付単価
水田・畑地	100,000円
樹園地	200,000円

### 1号遊休農地 (荒廃農地A分類)

a  
■利用されておらず、荒廃度が低度（トラクター等で耕起すればすぐ利用可能）の農地



b  
■利用されておらず、荒廃度が中度（トラクター等のみですぐ耕起できない状態だが重機と併用なら可能）の農地



農林水産省(2021)『遊休農地・荒廃農地の判定事例』

# 地域住民の協力

地域住民が協力して農業

今何をすれば？

手順がわからない



インターネットを使用した情報共有

# 具体的な機能

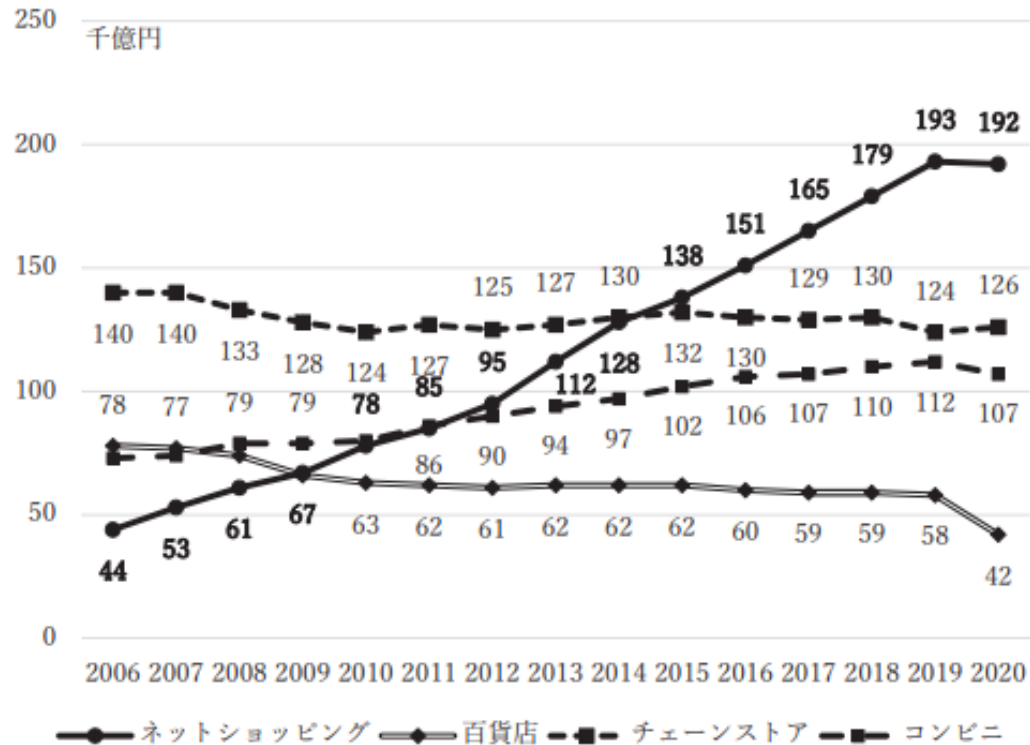
農地の生育状況  
カレンダー  
共有ToDoリスト  
動画による手順説明

農地経営を円滑に！  
水やりや農薬散布の見本動画を  
投稿→初心者でも安心



# 収穫した野菜の販売

図表 1 各業態の年間販売額の推移



① **地域**で野菜を販売  
→地産地消の促進

② **ネット販売**を行う  
→簡単に野菜を買える  
利用の拡大で販売数の向上

# ねらい

農業実践



農業への**関心**



農家となる人**増**



収穫量**増**



食料自給率**改善**

まとめ・展望

05



# まとめ

食料自給率→減  
農業従事者→減  
農家の高齢化

農業への関心→増



耕作放棄地の利用  
インターネットを用いた  
管理・運営  
農業を活性化  
農家の増加へ  
食料自給率の改善へ

# 参考文献

06

# 参考文献

農林水産省「食料需給表」

農林水産省

(1965)(1970)(1975)(1980)(1985)(1990)(1995)(2000)(2005)(2010)(2015)(2020)(2025)

「農林業センサス」

農林水産省(2021)『遊休農地・荒廃農地の判定事例』

農林水産省(2024)「令和5年度の荒廃農地面積」

東海大学(2022)「コロナ禍でのネット・ショッピングの利用実態と 利用意向—心理的セグメントテーションの観点から—」

JA共済(2022)「農業に関する意識と実態調査」